

国語 スペシャルお話し会

桃井第一小学校 ▶ 国語 1～3年生

● ゲスト講師・協力団体等：ルフラン（読み聞かせボランティア）

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

国語の授業として、先生方と読み聞かせボランティア「ルフラン」がスペシャルお話し会を企画して、普段行っている朝の15分の読み聞かせでは読めないような本を読んだり、パネルシアターやペーパーサートを使って、スペシャルなお話し会を行っています。授業の様子や内容は学校支援本部のホームページに掲載して、先生方や保護者の方に紹介しています。

■ 学校からのコメント・・・ 「ルフラン」の皆さんの豊かな表情と語り口調は、児童を一気に読書の世界へと引き込みます。2冊の本を比べながらの読み聞かせ、視覚で興味関心を膨らませていくパネルシアターなど、楽しく紹介し児童の心を大きく豊かに育ててくださいます。



国語 「スーホの白い馬」朗読公演会

四宮小学校 ▶ 国語 2年生

● ゲスト講師・協力団体等：

馬頭琴：橋本秀馬氏 / 朗読：秋山（渡辺）文香氏 / フルート：長谷川広美氏

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「スーホの白い馬」の核となる馬頭琴は、実物にふれてみないと理解が深まらない、馬頭琴の演奏を聴かせたいという先生方のご依頼でした。学年の先生、講師との打ち合わせをコーディネーターが行い、教科との連携を図りました。講師の方々にはモンゴルの衣装を着て頂きさらなる雰囲気作りをしました。保護者にも参加の呼びかけを行いました。

■ 学校からのコメント・・・ 「馬頭琴ってどんな音色がするんだろう？」国語の学習の中から生まれてきた児童の素朴な疑問に、コーディネーターが人脈をたどって演奏者を探し出し、演奏会を実現してくださいました。



国語 初めての毛筆

三谷小学校 ▶ 国語（書写）3年生

● ゲスト講師・協力団体等：渋谷 恵氏

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

毛筆での書写の導入の1時間目。習字道具の名称と使い方、筆の持ち方、運び方の指導を始め、書くときの姿勢や心構え、道具の手入れの仕方までを指導してほしいとの依頼があり、卒業生の保護者である渋谷先生に10年近く講師をお願いしています。1時間の授業を効率的にできるよう、事前授業で半紙の片付け方を児童に把握してもらっています。

■ 学校からのコメント・・・ 年間計画に組み込んで、年間2回ご指導に来ていただいています。毛筆指導は2時間かけていますが、T・Tでの指導ができることで、専門的な指導、机間指導を個別に行え、全体にいきわたる指導を能率的に行うことができます。



国語 日本語の美しさにふれよう ～百人一首を通して～

大宮小学校 ▶ 国語・学級活動 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：杉並かるた会会員3名

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

日本語の美しさを学ぶために、児童の身近な視点から何かお願いしたいとの依頼で、ちょうど取組をしていた近隣の中学校と同じ百人一首を提案しました。各学級で百人一首に取り組みました。当日は、場所の設定や対戦の見守りをサポート。内容をさらに噛み砕いた表現に手直しをするなど、スムーズに取り組めるような工夫をしました。

■ 学校からのコメント・・・ 危惧していた低学年も、百人一首を覚えるところから意欲的に取り組み、杉並かるた会の模範演技も熱心にもつめていました。児童の言語環境が広がった取組なので、ぜひ継続していきたいです。



国語 戦争体験をお聞きする

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

国語の教材「一つの花」からの発展として、戦時中の体験談をお聞きする授業を提案。戦争の辛さ、悲惨な日常生活を知り、教材作品についての理解を深めるため、当時小学生で疎開した方をお招きすることにしました。

講師とは、その年度の学年の状況や特性、担任の意向に合わせ、同じ内容でも伝え方や授業形態を打ち合わせて調整しています。児童の様子を事前にゲストにお伝えすることで、安心して進行できる雰囲気をつくっています。事前事後に頻りに連絡をするなど信頼関係を築き、次年度へつなげていきます。

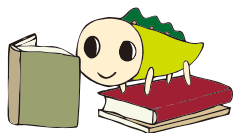
■ 学校からのコメント・・・

お話とともに、当時の写真や道具など貴重な資料を見せてくださったことで児童の関心と理解が深まりました。授業後も、児童との手紙のやり取りで質問に答えてくださるなど、交流が続き感謝しています。

富士見丘小学校 ▶ 国語 4年生

● ゲスト講師・協力団体等：地域在住の疎開体験のある男性





社会 防災・ハイパーレスキューの見学

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

4年生の社会科見学において、すでに決定している本所の防災館と関連ある授業をしたいとの要請がありました。学年主任との話し合いの中で、防災をテーマとし、事前授業の後、施設見学という日程を決めました。本所防災館での見学内容を確認するとともに周辺施設を調べ、第6方面ハイパーレスキュー隊の見学を実現するための日程調整を行いました。本所防災館の近隣にある被服廠跡を実際に訪ね、復興記念館が防災テーマにふさわしいことを確認。杉並消防署より、東日本大震災に出勤した隊員を招き事前授業の準備を行いました。

■学校からのコメント・・・

自然災害に関する学習において、防災館見学と合わせて計画づくりから携わってくれました。コーディネーターは、学習に対する理解が深く、学校側だけでは探せないゲストティーチャーを提供してくれました。体験的な学習をコーディネートしてくれるので学習内容が深まります。

和田小学校 ▶社会 4年生

●ゲスト講師・協力団体等：事前授業：杉並消防署
見学当日：都立横綱公園復興記念館、本所防災館、
第六消防方面本部 消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー）



社会 日本の伝統文化を外国の人に紹介する

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

社会の国際交流授業に向けて、児童が日本のさまざまな伝統文化を学び、そのなかから紹介するものを選び、調べ学習などをして外国人の方に実際に紹介する授業。外国人の方々からも児童に祖国の紹介をしてもらいます。講師のコーディネートはここ数年、早稲田大学国際教養学部学務課にご協力をいただいております。

打ち合わせは何度でも、夜でも講師の都合に合わせて伺いました。打ち合わせをした後でも講師からの提案等あればそれに合わせて担任にも伝え、臨機応変に対応するようにしています。

■学校からのコメント・・・

外国人への発表という目標を持って、様々な伝統文化を体験的に学べたのはとても良かったです。学んだ書道の方法を使って作ったお礼状もとても良いものができました。次の学年にも引き継ぎたいです。

高井戸第三小学校 ▶社会 4年生

●ゲスト講師・協力団体等：
茶道講師、浴衣着付け講師、昔遊び講師、書道講師、留学生



英語 1年 楽しい英語 ・ 6年 Let's start English

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

校長先生から、1年生には外国語活動の入り口として言語の面白さや楽しさを伝えること、6年生には6年間の活動を生かして中学校の英語学習の良いスタートを切れるよう関心を高めること、というご要望をいただきました。外国語活動に参加しているサポーターに協力をいただき、年間プログラムをよく理解し、普段の児童・担任の先生の活動への関わり方を見させていただきました。1年生には担任や保護者が児童の英語仲間になることを意識したプログラムを提案し、6年生には近隣中学校の英語の授業を参考に、小学校での活動と中1生で習う項目とのつながりも考慮しました。

■学校からのコメント・・・

学校のカリキュラムの隙間を埋めるように柔軟に学校支援本部に支援をしていただき、助かっています。特に外国語活動は、担任の指導力によるところが大きく、専門性の高い講師に、小学校の入口と出口を意識して指導していただけることが、大きな成果だと思います。

杉並第一小学校 ▶外国語活動(英語) 1・6年生

●ゲスト講師・協力団体等：杉並区英語活動サポーター



理科・生活

「むさし野の森」プロジェクト よみがえれ むさし野の森の自然 ～ ホタルが舞う里山づくりを通して地域との関わりを～

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「むさし野の森」として親しまれていた森を復活させ、森と水辺の自然環境を軸とした生態系をつくり、児童が多様な生き物がかがわり合っていることや、生態系という自然の仕組み全体を守ることなどを学んでほしい、との依頼。

「むさし野の森」の復活、ホタルの幼虫里親制度、ホタルの講座の開講、ゲンジボタルの小川作りと方南小の児童、保護者、卒業生、地域の力を借りて心のふるさとづくりを進めています。「むさし野の森」プロジェクトを地域、卒業生、保護者などに知ってもらうため、保護者や地域の方々に広報活動をしています。毎年6月には「ホタルを観る会」を開催しました。

■ 学校からのコメント・・・

「ホタルを観る会」では、児童・保護者・卒業生・地域の方々など、毎年、のべ300～500名もの方が「むさし野の森」に集まって、ホタルの温かい光を見ています。おかげさまで、方南の地域のつながりを象徴する取組となっています。

方南小学校 ▶ 理科・生活 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：

「方南ふれあいの家」（支援本部、おやじの会、PTAのメンバー など）



理科・生活

囲碁将棋体験

高井戸第四小学校 ▶ 生活（1・2年生）・総合（3・4年生）

● ゲスト講師・協力団体等：プロ棋士・地域の囲碁将棋愛好家・卒業生 など

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

保護者にプロ棋士がおり、囲碁将棋を学ぶことで、礼儀作法やじっくり取り組む力を養うきっかけにしたいとの要望。将棋連盟や日本棋院の協力を得て、本物を体験する機会を提案しました。同時に地域の囲碁将棋愛好家や卒業生をボランティアに募り協力していただきました。西荻窪の地域で盛んな囲碁将棋のネットワークを作成し、次回以降につなげていくようにしました。



■ 学校からのコメント・・・

対局だけでなく、礼儀を尊重しつつ日本文化を学べる点が保護者にも好評でした。専門家に加え保護者や卒業生の応援を得て、児童の視野を広げるよい活動となりました。

理科・生活

芋掘り体験

杉並第三小学校 ▶ 生活 1年生

● ゲスト講師・協力団体等：農家の経験者、地域の方

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

平成19年度卒業生が、エコ環境活動として屋上にさまざまな種をまき成長を在校生に託して巣立っていきました。しかしその後、手入れができなくなり、屋上の畑が荒廃していくのを防ぐため、草取りやサツマイモ作りなどを支援本部が始めました。芋（紅あづま）の収穫にあたり1年生に芋掘りをしてもらったらよいのではないかと考え、校長先生に提案し実現しました。日常の手入れも地域の方の協力を得ながら、草取りや水まきなど1年かけて手入れをし、畑ができるように土ならしをしてきました。

■ 学校からのコメント・・・ 屋上にある畑を、定期的に世話をしてくださり、たいへんありがたく思っています。当日、1年生は、夢中になって土を掘ったり、つるをひっぱったりしていました。児童の顔ほどの立派な芋がとれたときには大きな歓声があがっていました。収穫の喜びを体験できた有意義な機会でした。

理科・生活

動物と仲良くしよう

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「命の授業」の一環として各学年に適した題材の授業を組み立てて欲しいとの要望に沿ったものの1つで、2年生の授業は東京都動物愛護員と犬をゲストティーチャーに迎えて行いました。

校長先生の理解がないことには成立しない授業です。犬も学校という普段とは違う環境の場所にきて緊張します。児童には体育館に入る前から大きな声や音を出さないように担任の先生をとおしてお願いしています。動物を飼う責任、コミュニケーションや動物に触れる際の知識と共に、直接犬に触れてぬくもりを体感して小さきものをいつくしむ心が育っていくことを期待しています。

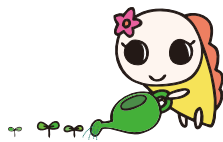
■ 学校からのコメント・・・

児童が本物の生き物と触れ合うことが減ってきている中、生き物との触れ合いがとても大切だと考えています。犬に初めて触れる子どもも多く、この学習を通して、たくさんの生き物と共に生きていること、命の重さを感じ取ってほしいと思います。

井荻小学校 ▶ 生活 2年生

● ゲスト講師・協力団体等：NPOゴールゼロ 木村はるみ氏、他10名





理科・生活

荻小の緑を楽しもう

～ビオトープや植物の環境整備と畑の作物づくり～

■先生からの依頼と学校支援本部の活動…

各学年の学習に合わせ担任の先生方からの依頼や希望に沿って畑の開墾・苗のポットからの取り出し等扱い方の指導・作物の手入れを実施、収穫はできれば児童とていう要望でした。植物や作物の成長を学び、育てる事の難しさや工夫に出会うことで命の大切さを知ることがねらいです。例：6年生 ジャガイモを植え光合成の学習、5年生 稲の観察、4年生 ゴーヤの種まきから種を収穫するまで、3年生 ひまわり・ホウセンカの成長と観察など学年の学びに合わせ計画をたて、宮前中の落葉で腐葉土を作り畑に使用し、ビオトープでは、自然の循環をゲストに話していただく等、全体のつながりを意識しています。

■学校からのコメント…

自分たちの手で植えた苗が大きく成長する様子を観察カードに書きました。収穫した野菜を家へ持ち帰り食べたら美味しかったとのこと。地域の方々と交流が図れてとても良かったです。

荻窪小学校 ▶総合・理科・生活 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：
緑のボランティアの方々、環境ネットワークの方々 他



理科・生活

ふゆとなかよし

—むかしあそびにちょうせんしょう—

久我山小学校 ▶生活 1年生

●ゲスト講師・協力団体等：昔遊び伝承の会

■先生からの依頼と学校支援本部の活動…

昔の遊びに関心をもち、地域の方と触れ合いながら、楽しく作ったり遊んだりしてほしいというのが先生からのご要望でした。本校で長年交流している「昔遊び伝承の会」の協力を得て、12種類の遊びを提案しました。講師が地域の方なので交流に重きをおき、皆さんの思いを尊重しながら企画立案しています。

■学校からのコメント…

南京玉すだれなどの実演に目を見張り、少人数でコツを教わり、地域の方を尊敬しながら楽しい時間を過ごしました。その後、学んだことを友だちと伝えあって練習し、年長の園児に自信を持って教える学習へと発展していきました。



理科・生活

昔遊び教室

杉並第六小学校 ▶生活 1・2年生

●ゲスト講師・協力団体等：地域協力者

■先生からの依頼と学校支援本部の活動…

日本に昔から伝わる遊びを地域の方に教えていただき、交流をしながら楽しむ授業。身につけた技を、友達同士で見せ合ったり 教え合ったり。地域の方々の思いや願いにふれることにより、地域への愛着を感じてもらいます。講師候補の方の得意とする昔遊びを事前に確認し、指導していただきます。毎回反省点を生かし工夫しています。

■学校からのコメント…

支援本部の方が、地域の方と我々教員とのパイプ役になってくださり、毎年大変有意義な活動をさせていただいています。ねらいや遊びの具体的な活動内容を事前に十分情報交換して臨むことでより良い授業にしていきたいです。



理科・生活

さいえんすタイム

桃井第五小学校 ▶理科 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：地域や保護者の方々

■先生からの依頼と学校支援本部の活動…

区の理科教育拠点校として、児童にとって理科をより身近なものにする為の試みをしています。そのひとつとして、大人と一緒に簡単な実験や体験等を行える「さいえんすタイム」を毎年実施しています。先生方と一緒にアイデアを出し合い、科学にとどまらず身近なところにある不思議、児童の興味関心をくすぐる新たな実験や体験等に関する検討を行い、円滑な実施を目指し機材等も借用できるよう交渉を行っています。

■学校からのコメント… 本校の教育課題や、教育活動の趣旨を十分に理解していただき、おやじの会や保護者、地域の方々のなかで科学に対する興味・関心、主体的な関わりを日常化する取組を学校外の視点からフォローしていただいています。学校授業から、地域・保護者の皆様の取組へと高めていただけており、この上なく有り難いことです。



算数

国語

スタディルーム花マル先生

富士見丘小学校 ▶算数・国語 1年生

●ゲスト講師・協力団体等：保護者OBを中心とした地域協力者

■先生からの依頼と学校支援本部の活動…

基礎基本の定着を目的に、全員が「できた。分かった。」の段階に到達するために、児童一人一人に寄り添い、見守り、即時評価をする人手が必要との依頼を受け、8年前から協力をしています。毎週会うことで児童とサポーターとのつながりができ、これにより学年が上がってからの教科・活動の支援もスムーズに行えています。担任とサポーターの懇談会を開催し情報交換を行ったり、サポーターに欠員が出ないような工夫をしています。

■学校からのコメント…

学力テストの結果を見ると、1年生でしっかりと支援することで、学び残しを救えていると感じます。児童は心地よい声かけとプラスの評価を受け、達成感をもって週末を迎えることができています。



音楽 箏に親しもう

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

杉九小には12面の箏があります。日本の伝統文化教育が重視される中、「専門家を招いて指導することで、より児童の関心を高めたい。」「地域の方々にふれ合う事でコミュニケーション能力を高め、日本の音楽にふれてほしい。」というのが先生からのご要望でしたので、地域の和楽器店にご協力を頂いています。箏を並べたり、調弦が必要となり前日に準備を行っています。また、授業が円滑に進行するようつけ爪などの配布などを行うため、授業には複数人で立会い、授業補助を行っています。なるべく、事前に先生とゲスト講師が顔を合わせて、指導方法を確認する時間を取るようにしていきたいと思っています。

■ 学校からのコメント・・・

日本の伝統文化を児童に伝える音楽の学習の中でも、最も指導が困難な「箏」を教材として取り上げることができているのは、まさに地域人材としての専門家が指導者となっていることが最大の理由です。この教育活動の実現へと導いた学校支援本部の取組に感謝しています。

杉並第九小学校 ▶ 音楽 4・6年生

● ゲスト講師・協力団体等：
(有)きく岡邦楽器店 志賀はつみ氏、志賀晴子氏(杉九小卒業生)



音楽 音楽鑑賞～生演奏にふれる～

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

成田西幼稚園(現 成田西子供園)で子どもたちに生の楽器や演奏を聴かせるという企画があり、当時、兼任されていた校長先生から小学校でも是非児童にふれさせたいというご要望で始まりました。継続的な実施をするため、支援本部が講師とのつながりを持つことになりました。日程調整や演奏内容など講師の方との綿密な打ち合わせを行い実施しました。

■ 学校からのコメント・・・

児童にとって、本物にふれる体験が心を豊かにすることにつながると思います。学校支援本部のコーディネイトによる「音楽鑑賞」は10人以上の演奏家が本校の体育館をステージに生演奏を披露してくれています。体育館一杯に広がる各楽器の音色に児童はうっとりとして聴き惚れています。本当に貴重な経験です。学校としては大変有難い企画であり、感謝の思いでいっぱいです。

杉並第二小学校 ▶ 音楽 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：森 貴子さん



図工 美術鑑賞

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

5年生の美術鑑賞・ギャラリートークにつなげる素地作りとして美術作品の見学や鑑賞態度について学びたい、とのご要望をいただきました。そこで、NPO法人ARDAの協力を得て、グループで対話をしながら作品の見方を深めていく鑑賞方法の体験を提案しました。プログラムの内容、目的を理解するため何度も話を聞き、図工専科、担任の先生のご要望をうかがいながら、教育課程に沿った内容となるよう、すり合わせに多くの時間をかけました。プログラムの目的が達成できるよう、感想をまとめ今後の美術鑑賞への期待が高まるようにシートを配ってふりかえりをしました。

■ 学校からのコメント・・・

アートカードを使った鑑賞活動では、各グループの支援員の方が、児童の感じたことを丁寧に引き出していきます。一斉指導ではなかなか発言できない児童も積極的に話し合いに参加しています。この経験を、5年生の近代美術館でのギャラリートークに生かしています。

杉並第一小学校 ▶ 図工 4年生

● ゲスト講師・協力団体等：NPO芸術資源開発機構 ARDA





図工 刃物研ぎと竹トンボづくり

杉並第二小学校 ▶ 図工 4年生

● ゲスト講師・協力団体等：東京土建杉並支部

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

以前から総合的学習で行ってきた授業の一つ。地元の方々にかかわって頂くことで正しい刃物の使い方を学んでいきます。

■ 学校からのコメント・・・ 東京土建杉並支部の方々からの全面的な指導のもと、小刀を使った「竹とんぼ」づくりを実施しています。普段の生活ではほと

んど使うことがない小刀で竹とんぼをつくる体験は学校支援本部であればこそ企画だと思っています。日本の伝統工芸に触れることは児童の成長を考えるうえでとても貴重なことです。地域の方々の力の凄さを実感しています。



図工 カッターの使い方

西田小学校 ▶ 図工 2年生

● ゲスト講師・協力団体等：杉並区在住のデザイナー1名

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

生活の中で刃物を使う機会が少ない児童がカッターの危険について理解し、正しい使い方を身につけて便利な道具として使えるようにしたいとの先生からのご要望で実施しました。初めてカッターを持つ児童もいるため、まずは安全を第一に考え、講師と安全な授業の進め方について何度も打ち合わせを行いました。また当日は保護者サポーター数名に危険がないよう見守っていただきました。

■ 学校からのコメント・・・ 生活を豊かにする便利な道具も、使い方を誤れば、たちまち危険な道具と化すことを理解する絶好の機会となりました。その後上手にカッターを使いこなし、美しいスタンドグラスの作品を安全に作り上げることができました。



家庭 家庭科サポート

(調理実習・ソーイング・ミシン)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

調理実習・ソーイング(手縫い)・ミシン実習の際の安全確認及び指導補助の依頼でした。地域・保護者のサポートにより、火や刃物、針などの取り扱いに細かく目を配って安全を図り、つまづいている児童に個々に対応することにしました。家庭科専科教員とサポート人数を打合せ、各授業2～3人のサポーターを配置し、実施しました。地域の方、卒業生保護者、民生委員など、協力していただけそうな方にはどんどん声掛けをしています。

■ 学校からのコメント・・・

調理・裁縫実習の際に、児童への個別支援を中心にサポートに入って頂きました。児童は分からないところをすぐに質問し、解決しながら課題に取り組むことができ、より達成感や充足感を味わいながら学習を進めることができました。

沓掛小学校 ▶ 家庭 5・6年生

● ゲスト講師・協力団体等：

地域有志・保護者のチャレンジサポーター



体育 体力向上プロジェクト

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

校舎の建て替えなどにより①運動量の低下 ②苦手意識 ③やりきる、根気にかけるといった課題があり、「体力とやる気の向上に取り組みたい」との要望をいただきました。先生との打ち合わせを繰り返し、発達段階に応じて、1～2年生はバランスや体感を鍛える体操、3～4年生はボールゲームを通じたチームワークを育むタグラグビー、5～6年生は自己の記録を伸ばす陸上を選び、ゲスト講師の授業を効果的に取り入れることで取組姿勢から見直す計画をたてました。親しみやすい指導法のゲストに教わり、楽しく体をたくさん動かすことからスタート。ゲストからの宿題や、コツがわかる資料等を用意し日常の授業につなげました。

■ 学校からのコメント・・・

取組を始めて6年目。徐々にモチベーションに変化が。体力テストでの記録も向上し、連合運動会などでの成果も出てきたようです。授業での集中がアップしたり、チームワークや友だちを思いやる気持ちなどにもつながる取組になっています。

高井戸小学校 ▶ 体育 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：

プロ指導者(体操、タグラグビー、陸上競技メダリスト)



総合 いろいろな職業を知ろう

八成小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等： 地域の方や八成小学校に縁のある方15名

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

中瀬中との小中連携で中学で行っている職業体験につながる授業をとの要望でした。支援本部では人材バンクをつくっており、それをもとに先生方と打ち合わせを重ねました。バンク登録の方と、コーディネーターのついでに15名の講師のお話を聞くことができました。連携している中瀬中のコーディネーターに事前に相談し、依頼講師が被らない配慮をしました。



■ 学校からのコメント・・・ いろいろな職業の方に、その仕事の良さ、苦労話、そして夢を持ち続けることの大切さを聞くことができました。多くの職業の方と交流することで、自分の将来について考えを深めることができました。

総合 井草ばやし

八成小学校 ▶ 総合 3年生

● ゲスト講師・協力団体等： 井草ばやし保存会

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

教科書(社会の副読本)に載っている井草ばやしを実際に体験させたい、との要望でした。井草ばやしの歴史や由来、演奏を聴き児童が実際に体験するということを3クラス合同で1時限の枠内で収められるようサポートしました。太鼓の台数に限りがありリズムが取れるよう新聞紙でバチを製作、床を太鼓の代わりに叩きました。曲がらない強度のあるバチの作製には苦労しました。



■ 学校からのコメント・・・ 手作りのバチが配られマンツーマンの指導。児童は「天(テン) テテ スクス テテ スクス」のリズムを覚えてあっという間に上達しました。地域の方とふれ合いながら、よい体験ができました。

総合 お仕事体験

高井戸東小学校 ▶ 総合 3年生

● ゲスト講師・協力団体等： 近隣商店および図書館、保育園、郵便局

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

仕事を体験・取材することで、社会とのかかわり、自分の将来を考える機会をつくること。気付いたこと、感じたことなどを整理して発表することを目的にしました。学校からの要望、児童のニーズにあわせて近隣施設・商店等の受け入れ先を探し交渉。学校との連絡窓口となり、限られた時間内での体験などを考慮しての受け入れ先を探しました。当日安全管理のため、学校・児童への注意呼びかけをしています。



■ 学校からのコメント・・・ 責任を伴う活動であることを自覚し、真剣に仕事をしている姿に感心しました。お店や施設の方が、お客様に対して様々な配慮をしていることを知り、仕事は楽しいだけではなく大変だと実感できたことも貴重な体験だったと思います。

総合 伝統文化を学ぼう「茶道教室」

高井戸第四小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等： 地域の茶道教室講師とそのお弟子さんたち

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

日本が誇る伝統文化として、児童に本物の茶道を経験させたいとの依頼に応えるため、本格的な茶室を設置して作法を学べるように、正式に教えていただける講師を地域のボランティアから手配しました。教室に畳を並べ、掛け軸をかけ、茶室への入り方から和菓子のいただき方まで学びました。



■ 学校からのコメント・・・ 量での生活が減少する中で、日本の伝統文化である茶道を子どものうちに体験できることは、大変貴重であり有益です。作法などを体験的に学ぶことを通して、興味・関心の伸長や伝統文化理解の深化を図ることができて、卒業前の子どもの心に残る活動となりました。

総合 いきものファッションショー

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

土曜授業の企画。美術大学からの提案をもとに作品の制作を行い、完成した作品を表現する取組を、学校へ提案しました。当日は会場となる教室・体育館の設営と保護者への積極的参加の呼びかけを行いました。大学側にも次代を担う児童に対する図工と違ったアート感覚が習得できる学習への協力としてお願いしました。

■ 学校からのコメント・・・

児童は、大学生にアドバイスを受けながら、クラフト袋に布やテープを張ったり、色を塗ったり模様を描いたりしながら、鳥、トラ、魚等、様々ないきものの衣装作りに取り組みました。最後に全員が自分で作った衣装を着て、体育館でファッションショーをしました。いきいきと作業に励み、個性豊かなすばらしい作品を披露することができました。

杉並第四小学校 ▶ 生活・総合 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 女子美術大学講師および学生・杉四アトム会(オヤジの会)



**総合** 職業EXPO

～自分の将来を見つめよう～

桃井第三小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等：様々な職業の方々 21名

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

将来自分になってみたい職業の方に学校に来ていただき話を伺う授業の手助けを、とのご要望でした。児童のアンケート結果をもとに、どのような職業の方に来ていただくかを先生方と相談しながら考え、依頼と取りまとめをしました。今年で6年目。希望に添った職業の方を探すことが課題でしたが、来て下さる方も増えました。児童とのふれあいを楽しめる雰囲気作りにも気を配っています。

■ 学校からのコメント・・・ 自分の将来なりたてたい姿を目の当たりにすることができる場『職業EXPO』を実現して下さるのが支援本部のみなさんです。6年生は一言も聞き洩らさないように必死です。

**総合** 私たちのあまめま

天沼小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等：地域に昔から住んでいる方々

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

1～6年生まで体系的なキャリア教育を進めており、それには地域の方々の支援が欠かせません。6年生では、自ら考え感謝する取組ができないかと学校から相談を受け、ともに作成しました。お話を聞く、児童が主体となるお礼の企画、交流授業へと段階的に複数回行います。ゲスト講師と交流を深め、より「仲良く」なるため、一人に対して児童5～6人という小グループでの活動を提案しました。

■ 学校からのコメント・・・ 「この天沼で生活をしていきたい」「地域のためにできる事を考えたい」など、児童の感想文に、この取組の価値と成果が表現されています。地域を愛することは、これからの地域活性化の大きな原動力になると思います。

**総合** ?の種を探そう～科学の祭典

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学校全体に科学実験のできるいろいろなブースを設け、児童が自主的に回って様々な実験・観察を体験します。科学の面白さ、楽しさ、不思議さに触れて、自然や科学に対する興味関心を高める授業を実現したいとの依頼でした。28のブース選定から講師を依頼し、ブース毎に内容の打合せを行いました。先生方とタッグを組んで実施に向けて準備をしました。当日学校全体は「科学ワンダーランド」となりました。講師とともに延べ190名のボランティアの協力が得られたのは、これまでの活動のネットワークの賜だと実感しています。

■ 学校からのコメント・・・

地域の多才な方々のお陰で児童は素晴らしい時間を過ごすことができました。大人でも不思議だ、何ぞと思うようなブースばかりでした。地球を救う発明をする子、明るい未来を築く子が育つ一歩となりました。今後も児童に科学・自然に関わることの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

松庵小学校 ▶ 総合・理科・生活 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：

大妻女子大学准教授 石井雅幸氏、東京農工大学教授 渡辺元氏、公益財団法人 東京動物園協会 他多数

**総合** 人にやさしいモノづくり
～ユニバーサルデザインってなんだろう～

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

4年生は1年を通じ総合の時間にバリアフリーについて学んでいます。その中の1つのテーマとして「ユニバーサルデザイン」について学ぶ授業を提案しました。主にゲスト講師と担任の先生との連絡・調整を行いました。これまで授業を行ったゲスト講師、協力団体、それぞれの授業内容のリストを作成しています。

■ 学校からのコメント・・・

日頃から使っている物には、みんなが使いやすくなるように様々な工夫がされています。実際に製品を作っている方々から直接お話を伺うことで、児童にとって学ぶことがたくさんありました。



西田小学校

▶ 総合 4年生

● ゲスト講師・協力団体等：

花王株式会社、東京学芸大こども未来研究所

総合 商店街の宣伝マンになろう

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

児童が地域の人々と関わり合い、社会で生き抜く力となる体験をすることを目的とした学習。協力していただける商店を探して下さい、との依頼でした。先生方とも相談をしながら、学校周辺の商店街をまわり、児童のインタビュー、チラシ配り、仕事体験に協力していただけるよう交渉しました。児童の仕事体験にふさわしいか、お店の邪魔にならないか、時間帯等、細かい配慮をしながら依頼を進めました。

■ 学校からのコメント・・・

社会の厳しさを味わい、生きぬくための力を育む体験です。販売する側からの視点にたつて物事を見ると、新たな発見をすることができます。支援本部は常に商店街とのパイプをつないでくださっています。

桃井第三小学校 ▶ 総合 5年生

● ゲスト講師・協力団体等： 近隣の商店街 21店舗



総合 巻紙の手紙 ～思いを伝える手紙～

荻窪小学校 ▶ 総合 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 地域にお住まいの書道家

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

思いやりや美しい心をもった子どもを育てる「ヒューマンディグニティ(人間の尊厳)」の一環として、自分の素直な気持ちを言葉に表し相手に届ける「巻紙の手紙」の実践を土曜授業で行ってほしいと校長先生からご要望がありました。敬老の日に祖父母やお家の方に宛てて心伝える手紙。平安時代の如く、長い紙に思い思いの絵柄を施して文面をしたため、野菜の切り口や季節の葉でスタンプをした芸術感溢れる手紙は贈られた方からも喜ばれています。

■ 学校からのコメント・・・ 手紙を渡す相手のことを考えながら、真剣に言葉を選び巻紙を見つめている表情が印象的でした。書道家である穂刈真里子先生から言葉のご指導を受け、完成した作品に、心温まる嬉しい気持ちになりました。



総合 食育ミュージカル

杉並第四小学校・高円寺中学校 ▶ 総合 全学年

● ゲスト講師・協力団体等： 山形県立置賜農業高等学校演劇部

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

5年生が山形県置賜地区のJA青年部の稲作指導を受けている縁から、同地区農業高校によるミュージカル公演で食育への関心を高める取組に発展しました。他の学習と連携し、鑑賞し学べる内容を提案しました。これらの延長として地域商店街では、JA青年部が生産するお米を商店街ブランド商品としたり、同地区に出向いての稲作体験(希望者)も企画しています。

■ 学校からのコメント・・・ 高校生の抜群の演技力と、工夫が凝らされた演出で子どもたちはミュージカルの中にぐいぐい引き込まれながら観賞しました。ミュージカルの中で出されたクイズに答えながら、児童はバランスのとれた食事こそが宝物であることを学びました。出演者の高校生とも交流し、大喜びでした。



総合 伝えよう心と心 ～ユニバーサルデザインについて考えよう～

大宮小学校 ▶ 総合 4年生

● ゲスト講師・協力団体等： 社会福祉協議会・視覚障害者1名 日立グループ

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

障害者に対する理解を深め、自分たちにできることは何かを考えさせるような取組を行いたいと要望がありました。社会福祉協議会のメンバーと話し合いを持ち、学校の行事などを考慮して、予定を組みました。児童が体験を通して、視覚障害者への理解を深められるような取組となるように配慮。継続的になるように、2学期と3学期に2回体験活動をしました。

■ 学校からのコメント・・・ 実際に体験することにより、児童は、障害者の立場に立って、生活や周囲の環境について考えられるようになりました。体験することの大切さがよく分かりましたので、今後も取り組んでいきたいと思ひます。



総合 尊敬できる大人の生き方にふれる

高井戸第三小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等：

フリーライター、ボディメイクトレーナー、ミュージシャン、会社社長(地元消防団)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

大人の生き方にふれることが目標。仕事をしている中で感動したことを話していただきました。学校からの前提として、「地域の人との連携」があったので、地元地域で講師を探しました。事前の授業で「自分の身近な大人の中で『この人の生き方にふれたい』と思った人とその理由を書いてもらい、そのなかから呼べそうな人にアタックしました。叶わないところもありましたが、近い人が呼べたと思ひます。

■ 学校からのコメント・・・ 事前授業でアンケートをとったのはよかったです。思った以上に良く書いていました。それに対応しようとしてくれた支援本部にも感謝しています。



**総合** 再発見! 自分たちの高円寺阿波踊りⅡ**先生からの依頼と学校支援本部の活動...**

高円寺阿波踊りは多くの人々が楽しむ大イベント。人材の不足や、ゴミの問題、ルールやマナー・モラルの向上も課題です。このことを5年生で学び、6年生では自分たちに出来ることを提案し、ゴミの回収などに取り組むことで地域への愛着を一層深めていきます。講師の方とは、事前に打ち合わせをし、今年の6年生の思いを伝えます。阿波おどり振興協会の方々に阿波踊りの現状や、問題点を授業でお話していただきました。また問題を解決するための提案事項に対し必要な地域の人材を新たに探しました。

学校からのコメント...

ポスターの作成、区長への請願、新聞社からの取材、チラシ配り、ボランティアへの参加等で、外部との折衝や予定の調整などを学校支援本部に協力していただきました。そのおかげで、児童が課題意識をもち、様々な活動を通し思いを行動に移すことができました。

杉並第八小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等：東京高円寺阿波おどり振興協会より2名

**総合** 赤ちゃんとのふれあい授業

松ノ木小学校 ▶ 総合 5年生

● ゲスト講師・協力団体等：大宮児童館、大宮保育園、永福北保育園、高円寺保健センター、松ノ木学童クラブ

先生からの依頼と学校支援本部の活動...

年度初めに年間予定(年5回)を話し合い、赤ちゃんを募集。参加いただく赤ちゃんの保護者に授業内容やねらいをお伝えします。2～4回の開催については協力団体に学校側と一緒に依頼、1、5回は担任主体で開催します。お手伝いの保護者の募集や説明会、当日の会場準備・計測器などの用意をし、赤ちゃんと保護者を誘導します。授業中は赤ちゃんや児童の安全確認等状況を見ながら、授業のサポートをします。

学校からのコメント... 「5年生になったら赤ちゃんとのふれあい授業を受けられる!」と、松ノ木小の児童にとって、とても楽しみな活動です。赤ちゃんの成長をとおして、自他の命を大切に、自分を取り巻く方々への感謝の気持ちを育てることのできる、意義深い取組です。

**総合** 全学年一斉絵手紙活動

久我山小学校 ▶ 総合 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：杉並区絵手紙協会、杉並ボランティアセンター

先生からの依頼と学校支援本部の活動...

① 絵手紙教室の開催 ② 南相馬市の震災仮設住宅の方へグリーティングカードを描く ③ 久我山っ子カレンダーの作成 ④ 高齢者施設との交流を実施しました。それぞれのプロジェクトで講師・道具の手配、出来上がった作品の整理・送付準備、児童引率をサポートしました。

学校からのコメント... 本校の絵手紙活動は、開校当初に地域の方々の協力を得て始まりました。今は学校支援本部の方々が、日本絵手紙協会とのパイプ役になっていただき3年前より全校で絵手紙活動に取り組んでいます。社会教育活動にも取り組み、児童の自尊感情が高まってきました。

**総合** 緑のカーテンを作ろう

浜田山小学校 ▶ 総合 5年生

● ゲスト講師・協力団体等：地元農家の鈴木さん、ミサワホーム研究所

先生からの依頼と学校支援本部の活動...

植物の育成は、植物の成長やはたらきを知る学習になります。また家庭科の調理学習や、記録し伝えたりすることで国語につながるなど、さまざまな教科と関連づけています。講師との打ち合わせ、説明用の紙芝居を用意、栽培に必要な物リスト、調理実習のメニュー、食材・使用器材のリストや保護者サポーター用の授業進行表などを作成。環境博エコプロダクツ展のブース管理と接客、来場者用ゴーヤの葉と花のしおりを作成しています。

学校からのコメント...

ゴーヤを育て、緑のカーテンを作ることは、浜田山小学校の5年生の取組として伝統になりつつあります。ゲストティーチャーやサポーターの手配、用具の準備などさまざまなサポートにより、質の高い取組が実現できています。



総合 弟子入り体験

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

実際にお店を体験し身近な商店の方々の仕事の工夫や仕事の大変さを学ばせるため、商店とのやり取りなどパイプ役として協力の要請がありました。地域にある商店街の会長に協力のお願ひに行き、その後受け入れ先の商店に出向き、挨拶・当日の詳細の説明をしました。普段から地域・商店街には、足を運ぶよう心掛けています。特に体験当日は、応援を兼ねて各店に足を運びました。また、保護者にも当日お客さんとして協力してもらうよう声掛けをしました。

■ 学校からのコメント・・・

地域の商店街の皆様にご協力いただき、それぞれのお店に児童が弟子入り体験させていただいています。体験を通して、お店の方々の工夫や努力に気付いたり、働く楽しさを味わったりすることができました。

杉並和泉学園小学部 ▶ 総合 3年生

● ゲスト講師・協力団体等：地域の商店・会社



総合 日本の伝統・文化理解教育 (茶道・華道・百人一首・箏・藍染め・友禅)

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

特色ある教育活動の3つの柱のうちの1つ。地域の専門講師の力をお借りしながら「本物」を体験することにしました。担当教員との打合せを行い、実施内容を決定。その後講師との連絡調整、サポーターの募集とサポート内容の打ち合わせ、学校事務や用務主事との打合せ、使用品の準備、当日の立会いや事後報告等を行っています。茶道は、各学年の目標を決め、学齢に応じて進められるよう講師と内容を練りました。4年生華道は天沼中華道部の生徒が授業に参加するため、天沼中の先生・支援本部とも調整を行っています。

■ 学校からのコメント・・・

様々な実体験を通し日本特有の価値を知ること、今後の国際社会におけるアイデンティティの基礎が養われています。特に、6年生が取り組む緑の芝生での野点は、6年間の継続的な経験に基づく貴重な体験となっています。

天沼小学校 ▶ 生活・総合 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：地域の専門講師・専門団体



総合 マイ・ドリーム

杉並第八小学校 ▶ 総合 6年生

● ゲスト講師・協力団体等：身の周りの働く人々、地域商店街12店舗

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

働くことの意味や尊さについて理解する授業。地域社会を支える様々な職種と働く人の思いや願いを学び、自分の生活を見直すきっかけにします。児童からのリクエストを元に様々な職種から講師を依頼。高円寺の地元を中心として探しました。昔からの店舗が年々減っており協力店舗を探すのも難しくなっています。

■ 学校からのコメント・・・ 実際に職場体験をすることにより、身をもって社会を支える人々の工夫や苦勞を感じ取ることができました。「働く」意味を考え、職場体験に臨んだあとは、奉仕活動への取組の意識にも変化が見られ、より意欲的になりました。



総合 ゴミ埋め実験と裂き織

浜田山小学校 ▶ 総合 4年生

● ゲスト講師・協力団体等：すぎなみ環境ネットワーク

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

ゴミ埋め実験を通して、身近な環境について考えます。不要になった布を使って裂き織でコースターをつくり、リサイクル体験をするなどの環境学習に取り組んでいます。裂き織体験は講師の話聞いて理解できる力を身につけてもらうために説明に使用する拡大版織機を作成。色とりどりの作品を集めクラスごとに額に納め、展示会場の外に展示しました。

■ 学校からのコメント・・・ 環境教育の一環として、「ごみ埋め実験」「裂き織り体験」は大変有効でした。土にかえる物とそうでない物を予想し実際に体験することで、児童の興味関心を喚起し、日常生活のゴミの出し方に変化が現れ、リサイクルの意識も高まりました。





総合 12歳の夢ロード ～三谷小との合同キャリア教育～

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

小小連携の取組として三谷小学校と2校合同でキャリア教育を行うようになって4年、同じ地域の中学へ通うことになる両校児童約200人が同じゲストから話を聞き触発し合うような授業にしたいとのことから、「今年は児童同士でディスカッションができないか」との要望がありました。両校の支援本部が協力、情報を持ち寄ることでゲスト選定の幅が広がり、より学校側のニーズにあった授業協力ができるようになりました。両支援本部で使用教室、施設等を確認、児童の動線を考え、ゲストティーチャーが使用する備品をリスト化し共有するなど、お互いのノウハウを統合し共に参考にしながら連携しています。

■学校からのコメント・・・

三谷小との合同キャリア教育では、多方面にわたるプロの方から、その仕事に就いた経緯や仕事にける情熱、こだわりを実際に聞くことができ、児童の将来の道標となりました。働くうえで大切なのは、自分がどんな思いをもち、どう人と関わっていくかであるという点を知る良い機会となりました。

桃井第四小学校 ▶総合 6年生

●ゲスト講師・協力団体等：

落語家、国際支援ボランティア団体、ロボット開発者などの職業人10名



総合 やさしいいっぱい「心のバリアフリー」

三谷小学校 ▶総合 4年生

●ゲスト講師・協力団体等：視覚障害の河相富貴子氏、ケア24上井草、特別養護老人ホーム上井草園、上井草ふれあいの家

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

障害を持つ方のお話(その生活や周囲の人たちに手伝ってほしいこと、これから生活していく上での願いなど)を直接伺いたい。また、「車椅子体験やアイマスク体験をとおして、身体の不自由な方の気持ちや、自分たちができることを考える機会を持ちたい。」との依頼。視覚障害の河相さんにはその生活ぶりのお話のほか、実際の包丁使いなども見せていただきました。児童から点字で河相さんに返事を書くため、点字の授業も行いました。

■学校からのコメント・・・3年生からの総合的な学習の時間を通して、高齢、障害というものを理解し、相手の立場に立つということも学び、高学年に近づく中で、思いやりやふれあい、課題を見つけ社会への問題提起するきっかけづくりとなっています。



総合 キャリア教育「自分を見つめて」

桃井第五小学校 ▶総合 6年生

●ゲスト講師・協力団体等：地域協力者、保護者10名程度

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

将来やりたい職業や興味のある職業を図書資料等で調べ、自分の将来に夢をもち、働く事への興味や関心を高める為に、多方面でご活躍の方々をゲストティーチャーとして呼び出しています。地域や保護者の方々のおかげで、児童が希望している職業の方々に対しゲストティーチャーとしての協力をお願いするとともに、当日の受付や案内に加え、授業がスムーズに行えるようにサポートしています。

■学校からのコメント・・・児童の実態に合わせた要望に、常に前向きにお応えいただき、コーディネートして下さった多岐にわたる職業人のみなさん方から「生きる」ということを学ばせていただきました。



総合 国際理解教育 ～2020年を目指して～

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

杉並区が1年生から取り入れている英語活動の意義を生かし、2020年に向けて、継続性のあるカリキュラムで国際理解教育を実施したいとの依頼を受け、外部機関とともに地域のボランティア協力を得ることで地域全体の喚起と人材の掘り起こしを提案しました。低学年は各学年ひとつの国に絞って遊びやクイズを通して日本との対比を体感し、3年生は絵本作家スギヤマカナヨさんのワークショップで世界旅行の疑似体験を、4年生はアメリカンスクールとの交流会、5年生は日本文化にふれておもてなしの心を、6年生は留学生による授業を受ける、など各学年の先生と相談しながら実施準備を行いました。

■学校からのコメント・・・

東京オリンピック・パラリンピック招致が決まり、積極的にボランティアに関わる児童を育てようと決め、国際理解教育をスタートしました。いろいろな国の方と豊かな経験を積むことができている。違いに戸惑うのではなく違いを楽しみ自分の中に吸収できる子に、日本の良さを実感できる子に育てて欲しいと願っています。

松庵小学校 ▶総合・外国語活動(英語) 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：杉並ユネスコ協会、

St.Mary's International School、むさしの児童文化協会



総合 環境学習 ～野鳥観察と善福寺川調べ～

井荻小学校 ▶ 総合 3～6年生

● **ゲスト講師・協力団体等**：すぎなみ環境ネットワーク 境原達也氏、善福寺川を里川にカエル会・名古屋大学 中村晋一郎氏、他約20名

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・**

特色ある教育活動として野鳥観察を行ってきましたが講師の高齢化に伴い講師探しの依頼を受け、環境学習の拡充を見据えて講師を選定しました。野鳥観察のほかはこちらから提案した川の学習や児童から提案の6年生の清掃活動、5年生理科の降雨量と川の増水の関係について等広がっています。役所や公園への届出、備品の準備、ワークシート等の作成、講師との事前打ち合わせ、当日のスタッフ、事後のふりかえりなど授業充実のためのサポートを行っています。

■ **学校からのコメント・・・** 学校内を善福寺川が流れているという恵まれた環境を生かしての活動です。児童から出た疑問に応じてくれる支援本部や講師の力で、直接体験の多い活動となり、ホタル水路の提案書をつくるなど地域に働きかけ、地域社会の課題に関わっていく学習になりつつあります。

総合 狂言について学ぼう

桃井第一小学校 ▶ 総合 6年生

● **ゲスト講師・協力団体等**：狂言方大蔵流 山本泰太郎氏・山本則孝氏（杉並区名誉区民の山本東次郎氏のご子息）、若松 隆氏

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・**

土曜授業で伝統文化について学ぶことになり、先生と各学年の授業の内容を検討し、講師を探しました。6年生は国語の授業で学習した狂言を取りあげ、杉並区に縁のある狂言師の方に来ていただきました。実際に狂言を演じてもらうだけでなく、ワークショップで狂言特有の所作なども教えていただきました。本物の狂言を間近で観ることができ、伝統文化を受け継いでいく意味と大切さを感じることができました。

■ **学校からのコメント・・・** 6年生は国語の授業学習後に実際に狂言を見ることができたのはとても貴重な経験でした。狂言についての説明や公演だけではなく、狂言の動きにチャレンジする体験もあったので、児童はより興味を深めることができました。



行事 桃二小誕生会

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・**

桃二小の卒業生で児童に夢を語るができる人、活躍中の人を紹介してほしいと副校長から依頼がありました。同窓会に連絡して情報を聴きながら、講師探しをしました。講師を2人探し、事前および当日の打合わせのセッティングをしました。

■ **学校からのコメント・・・**

岸田茜さんとマエダエマさんの2人から最後に、児童へ「未来には楽しいことが待っているから、大人になることを楽しみにしてください」とのメッセージをもらいました。今後も様々な分野で活躍している卒業生をゲストにお招きして夢を語ってもらおうと思っています。

桃井第二小学校 ▶ 全学年

● **ゲスト講師・協力団体等**：卒業生2名（マエダエマ氏（ダンサー）、岸田 茜氏（舞台女優））



朝活動 朝運動

高井戸東小学校 ▶ 全学年

● **ゲスト講師・協力団体等**：地域在住のボランティア（40代～70代）

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・**

児童の運動能力や体力向上はもとより、異学年交流、早起きの習慣付けによる児童の生活リズムの安定、始業時にすっきりした頭で授業に臨むことを目的としてスタート。地域に呼びかけてボランティア「おはよう隊」の募集や学校との連絡調整を行っています。地域の方々に直接児童と関わってもらうことで、学校と地域の協力関係を深めています。

■ **学校からのコメント・・・** 体力向上はもちろん、遅刻する児童が減り、一日のリズムが良くなりました。地域のみなさまとふれ合いながら学年を問わず一緒に運動することで、朝の挨拶をはじめ、社会性の向上にも役立っていると思います。



朝活動 朝にわ

桃井第二小学校 ▶ 全学年

● **ゲスト講師・協力団体等**：地域協力者（サッカー・野球コーチ・民生委員・町会）

■ **先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・**

夕方はお稽古などで忙しく体を動かす時間がない児童のために、朝の校庭で遊ぶ時間を作りたいと校長先生から提案されました。週2回実施。児童が安全に遊ぶよう、見守りボランティアを探し、参加児童の募集をしています。「朝にわ」を行うことで保護者にも支援本部の活動を広めていくことができ、また先生方との連携もとりやすくなっています。

■ **学校からのコメント・・・** 登校前の30分間を校庭で思う存分遊ぶ「朝にわ」は、児童がとても楽しみにしている時間です。教員にとっても勤務時間前の授業準備の貴重な時間なので、安全面での見守りは、大変有り難く、学校支援本部の皆様のご協力に感謝します。





朝活動 朝遊ばせ隊

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

始業前の30分間、キャッチボール、サッカー、バドミントン、一輪車、竹馬などをして児童とともに校庭で遊びながら児童の安全を見守ります。学校近隣にお住まいの方々と、朝、児童とかわることに積極的な人材をリストアップするとともに、広報でボランティアとしての参加を呼び掛けました。「あいさつ運動」や「花咲かせ隊」の活動も同時に行って、一日を気持ちよくスタートさせることで児童の心の成長を支援しています。

■学校からのコメント・・・

朝から元気に遊ぶことで、児童の体力向上を目指すとともに、体を目覚めさせてスムーズな学習開始につなげることができています。また、地域の方々とのおふれ合いが増え、人とかわる力が育っています。

馬橋小学校 ▶ 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：地元自治会



朝活動 朝のパワーアップタイム

杉並第十小学校 ▶ 低学年

●ゲスト講師・協力団体等：地域住民、大学生、保護者

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

毎週火・木・金の朝学習(パワーアップ)の時間に、低学年を中心に実施。プリントなどの添削、準備の手伝い、声かけ等を行っています。地域住民、大学生、保護者がボランティアとして低学年の基礎学習中心に実施。学校の要望とボランティアの予定に合わせて、シフトを組んでいます。ボランティアの人柄や得意分野にも配慮して配置することでボランティア自身にも「やりがい」を感じていただけるよう心がけています。

■学校からのコメント・・・ 児童への個別指導など、学級担任1人だけでは行き届かないことを、率先してお手伝いいただいています。児童も学級に来てくれることを楽しみにしています。

朝活動 朝先生

済美小学校 ▶ 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：地域協力者

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

朝学習(算数)時の1、2年生の丸つけと朝遊びの見守り等を行い、学校の要望に答えられるような体制を作ることを目指しています。児童が、地域の大人たちと顔見知りになり、良い関係を作れるように、継続的に手伝ってくださる地域の方を探そうにしています。

■学校からのコメント・・・

1、2年生の朝学習のお手伝いをしていただいています。一人一人丁寧に教えていただき、児童は毎回とても喜んでます。花丸がもらえるよう毎回意欲的に学習に取り組んでいます。



読み聞かせ 金曜朝の読み聞かせ

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

1年生の学年主任より、週1回授業前の15分間、読み聞かせをしてほしいとの要望がありました。1、2年生は年間。3年生は4月のみ行うことに。毎月末に、PTAの読み聞かせ担当に翌月の参加希望を出してもらいシフト表を作成。毎月第1火曜日の「りぶりんと杉並」の定例会で、当月の空いているクラスを埋めていただきます。保護者と、児童とのふれあいを楽しみにして下さっているシニアの皆様との間で、1つのクラスに読み手が偏らないようシフト作成を工夫しています。

■学校からのコメント・・・

低学年の児童にとってこの時間は貴重です。集中して読み手の方の話に聞き入り、想像力を膨らませながら内容に没頭している様子が見られます。児童がとても楽しみにしている時間であり、学習にも大きな影響を与えることにつながっています。

堀之内小学校 ▶ 1～3年生

●ゲスト講師・協力団体等：シニア読み聞かせの会「りぶりんと杉並」



読み聞かせ 図書ボランティア活動

杉並第六小学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：保護者・卒業生・地域協力者



■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

朝の時間を活用することにより、脳の活性化をはかり、集中力アップと、本(活字)に興味を持たせる事をねらいとしています。読み聞かせボランティアの方16名、保護者6名で構成され、月2回、朝の15分間、1～6年の各クラスで絵本の読み聞かせをする方を配置しています。

■ 学校からのコメント・・・

ボランティアの方は、保護者、卒業生の保護者、英語サポーターや地域の図書館などで活動している方々で、読み聞かせや語りの幅が広く、児童もとても楽しみにしています。また児童にとって読書の幅を広げる機会になっています。



読み聞かせ 朝読時の読み聞かせ

高井戸第二小学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：

外部講師：服部雅子氏、対馬初音氏、保護者読み聞かせボランティア「わかば」

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学校の教育方針のもと読み聞かせに力を入れたい、また保護者の中から読み聞かせボランティアを募集したいというのが学校からの依頼でした。スムーズな運営ができるようPTAとの連携を提案。円滑に活動できるよう、よりよい読み聞かせ活動のための説明会や勉強会を外部講師を招いて開催。耳からの読書を楽しむことの大切さ、読み聞かせの実践方法を学びました。

■ 学校からのコメント・・・ 読み聞かせは、児童が落ちついた一日を始められる効果の高い教育活動です。本校では、それを一層効果的にするために、ボランティアのスキルアップをはかる方策をはじめました。{全体研修}→{達成度判定}→{読み聞かせ}です。これにより読み聞かせのスキルが飛躍的に向上しました。



放課後 放課後算数の学び広場

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

勉強は少しつまづいてしまうとわからない所が増えてしまいます。一緒に勉強してくれることで学ぶ喜びや意欲が出てくるような広場を開いてほしいという依頼でした。ボランティアの方々と学校との確認会議を学期に一度もち、学校との連携を大切に、担任と支援本部で個々に寄り添った学習プリントを用意しました。学習した内容や児童の様子などを記入する家庭と学び広場の連絡カードや、学習する教材を作成しました。学期末には、学習したプリント、学び広場カード、修了証を綴じて児童に渡しました。

■ 学校からのコメント・・・

「先生、今日も〇をたくさんもらうんだ」水曜日になると、嬉しそうに話をしてくれます。個々のペースに合わせて教えてもらえることで、自信を持ち、学習意欲にも繋がっていることが児童の表情から伝わってきます。

高井戸第二小学校 ▶ 算数 1・2年生

● ゲスト講師・協力団体等：地域の学習ボランティア 20名



PTAサポート 花火大会
～PTA校外生活部地区班活動～

杉並第九小学校 ▶ 全学年

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

PTA校外生活部が企画する地区班活動において、花火を行うための安全管理などの補助を行いました。校庭で花火を楽しむことを通して、他学年の児童、保護者同士の交流を深め、さらに支援本部とPTAの協働体制を構築することが目的です。消防署の協力による消火器体験なども行いました。「開かれた学校」として、地域の多くの方々に児童や保護者や学校と関わっていただく機会であり、顔合わせの場となっています。

■ 学校からのコメント・・・ 花火は管理等の困難さから風物詩としての影を薄めてきている中、PTA校外生活部の主体性によって企画された画期的な行事です。参加者同士が交流を深めたいというPTAの思いを支援本部が受け止め、協働が実現しました。



その他 クラブサポーター

馬橋小学校 ▶ 4～6年生 ● ゲスト講師・協力団体等：地域の方々

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

26年度から始まった月1回の土曜授業で行われる4～6年生のクラブ活動の際、11ある各クラブに1～4名のクラブサポーターが教員の補助的な立場で指導に入り、児童を見守ります。学校近隣にお住まいの方々に、クラブ活動で児童の相手をしたり、専門的な技能を生かしたりすることができる人材をリストアップして参加を呼びかけました。欠席のサポーターがいるクラブに人材配置をするなどの臨機応変なコーディネートを行っています。

■ 学校からのコメント・・・ クラブ活動は4～6年生のため、1～3年生の担任はその時間帯に授業を行っています。残りの教員だけでも指導はできますが、地域の方々各々が各クラブに入ることによって、一人一人に細かい指導ができることや、将棋や卓球の相手など地域の方とかわる機会が多くなったことが成果だと思えます。





その他 チャオ広場 (幼児・児童の託児)

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

保護者がスムーズに実施できるように、幼児・児童の居場所を作って欲しいとの先生方からの要望でした。そこで地域の方のご協力を得て、1・2年生の保護者会、歓送迎会、学校説明会等の託児を提案しました。事前に申込書を配布し名簿・名札を作成しました。また、折り紙・ぬり絵・風船・画用紙等を用意し、誰もが安心して遊べる居場所作りを工夫しました。学期に2～3回実施しているため、ボランティアの人数確保が重要となり、事前に実施予定日を知らせることで人数調整をしています。また、当日は参加者や保護者に分かり易いように、ボランティアは専用のエプロン・名札を着用しています。

■学校からのコメント・・・

保護者会の時間内に、低学年とその弟妹が校内にいられる場所があるのは保護者の安心も得られ、教員も落ち着いて話に集中できます。保護者会への出席率も高く良い相互関係が保たれています。

東田小学校 ▶ 1・2年生、幼児

●ゲスト講師・協力団体等：

地域ボランティア、大学生(登録者15名の内、毎回8名程度参加)



その他 四宮小こども盆踊り

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

四宮小こども盆踊りは、地域の児童の夏の思い出づくりと、地域の皆さんとの貴重なふれあいの場と考え、地域がさらに魅力ある街になることを願って企画しています。現役保護者や学校と、卒業した保護者や地域の方々をつなぎ、支援本部員も企画・運営、模擬店の出店等、多岐にわたりがかかわっています。地域町会の方々や学校・地域コーディネーターにより、盆踊り当日に児童や母親の着付けのお手伝いを行っています。

■学校からのコメント・・・

学校だけではとうていできない催しですが、支援本部が中心となり地域やPTAの方々の協力を得て四宮小学校の夏の一大イベントとして定着することができています。

四宮小学校 ▶ 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：PTA・地域町会・地域商店会



その他 土曜チャレンジ・スクール 算数サポート

方南小学校 ▶ 3～6年生

●ゲスト講師・協力団体等：専任講師2名(いずれも本校卒業生の社会人)、および卒業生・地域ボランティア・学生ボランティア等の支援スタッフ8名の合計10名

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「算数が苦手・嫌い」と言う児童が3年生頃から増加傾向にあり、楽しみながら算数に親しむ機会を作りたい、との当時の校長先生からの相談を受け、支援本部主体でサポートできる内容を提案しました。原則として隔週土曜日の午前中2時間、年度を通して20回の開催。ゲームの要素も取り入れ、遊び感覚で楽しく算数を学びながら「算数は苦手」から「算数が好き」へを目標としています。また、市販のプリントを活用して基礎学力向上も目指しています。

■学校からのコメント・・・ 支援本部の方々・ボランティアの方々など「地域の応援団」の熱い思いに支えられて、土曜日の午前中に学校に集まり、学習に取り組んでいます。本当に方南の児童は恵まれていると実感しています。



その他 夏季せいびわいランド

済美小学校 ▶ 全学年

●ゲスト講師・協力団体等：日頃地域の中で活躍している方や団体

■先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

児童に講座をとおしているいろいろな経験をさせたいとの依頼。日時以外は、支援本部が主体となり開催しました。準備として講座開設者募集、内容の検討、一覧表作成、参加申し込み、開設講師の方との会議を行い、当日は支援本部員とボランティア活動スタッフで講座のサポートをしました。児童に、より多くの経験をしてもらいたいため、興味がわく内容になるよう工夫し、講師、ボランティアと何度も打ち合わせを行いました。

■学校からのコメント・・・ 19講座の体験的な活動を準備していただきました。地域や保護者の方々の中から、ゲスト講師を募るとともに、学校の教育活動だけではできない活動を企画・運営していただきました。



その他 松ノ木わんぱく美術館

松ノ木小学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：松ノ木町会

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

支援本部が提案する取組。学校の外壁を児童が自由な発想で制作した作品で飾ります。作品の募集、材料の準備、展示協力、投票期間を支援本部で決めます。地域の方にも投票してもらい、結果を全校児童の前で発表。児童は、投票により評価されたことに、そして、地域の方は作品によって明るい景観に変わること喜びを感じます。そして、投票によって地域の一員として参加していただき、総合的に松ノ木小と地域をアートで緩やかに結び図式を構築しました。

■ 学校からのコメント・・・

校舎の壁面に展示された個性いっぱいの児童の作品は、通りを歩く児童たちはもちろん、保護者や地域の皆さんの目を楽しませてくれています。児童たちと地域の皆さんの心をつなぐ取組として期待しています。



その他 サマーナイトスクール

和田小学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：おやじの会

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

休みの1泊2日の活動の中で、学校が地域の防災拠点であることを知るとともに、協力しあうことの大切さを学びます。校庭を使った水鉄砲遊び、図書ボランティアによる恐い話の読み聞かせ、おやじの会によるうどん作り、花火大会などの進行を管理しました。同じ企画にならないように、前年の企画を少しずつ変えて開催。事前の打合せを重ね、児童が楽しめる内容を考えています。



■ 学校からのコメント・・・ 本企画は、学校の教育活動外の活動である。児童が興味をもち、主体的に取り組みながら異学年集団の関係を築くことができます。支援本部に属する「おやじの会」の運営であり、普段の生活の中で関わることが少ない「おやじ」の皆さんとの関わりができることも本企画のメリットです。

その他 サマースクール

杉並第七小学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：保護者、地域の方、先生、専門家

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

「夏休みは遊びに行く所もないし、ずっと家でゲームしていたよ。」そんな児童のつぶやきを受けて、はじめた活動。平成22年から支援本部の主催行事として継続しています。1.「遊び」を前面にして「体験」ができるワークショップ的な講座。2.タイトル(テーマ・講座内容)がシンプルで、わかりやすい。3.おみやげ(モノ・芸・話題など)を家に持ち帰れると満足度が高い。4.全学年が「たて割り」で参加できる講座が望ましい。といった4つの条件をたて、校長先生、副校長先生のご希望を伺いながら、その年の講座内容を決めています。

■ 学校からのコメント・・・ 異年齢の児童や家族と一緒に楽しめる講座もあり、ほのぼのとしたかわりが見られます。サマースクールの講師を授業にお招きするケースもあり、今後も、授業とのつながりも模索しながら、夏休みの思い出となる楽しい活動を期待しています。

その他 お月見の会

永福小学校 ▶ 全学年

● ゲスト講師・協力団体等：卒業生や地域の音楽家

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

日本の伝統行事である「お月見」の雅さを児童に伝えとともに、天体望遠鏡での月観察で天文学への興味を喚起。また、雅楽やクラシック中心のミニコンサート、スクリーンを使った読み聞かせなどで、叙情性を高めたイベントです。ボランティアの募集・手配や出演者の依頼等、企画から準備、開催、運営まで行います。まずは安全面に十分配慮し、そのための準備・受付・警備のためのボランティアの確保に務めています。

■ 学校からのコメント・・・

校庭には児童が作成した灯籠が幻想的に一面を照らし、その中での雅楽の演奏やコンサート等は秋を感じさせてくれます。支援本部の方々のアイデアは児童や大人を引き付け、大勢の方が楽しみにしている企画です。



その他 学校の教育活動のサポート

永福小学校 ▶ 全学年

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

児童に様々な経験のできる機会を提供することが目的。また、学校のHP作成のお手伝いや保護者会での児童見守りなど、教科以外の支援をする支援本部事務局が、学校と各支援隊との連携を調整します。年に数回関係者全員参加の会議を開き、活動内容を確認します。各活動の詳細は、別途担当者が打ち合わせをしています。

■ 学校からのコメント・・・

良い支援本部なくして良い学校はあり得ません。永福小学校の支援本部の皆様のご尽力で教育活動がより充実したものになっています。今後も支援本部と教職員がスクラムを組み、更により学校を目指していきます。





その他 お月見の会

東田小学校 ▶ 全年学

● ゲスト講師・協力団体等：
おやじの会・東田地域の会・地域ボランティア



■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

理科室にある150倍の天体望遠鏡を使い、児童に肉眼で観る月を体験させたいという要望でした。地域の天体に詳しい方のご協力を得て、月や望遠鏡について学び、天体観測をすることを提案しました。低学年と高学年の二部制にするために、事前に申込書を配布し名簿を作成しました。晴天・曇天・雨天と天候に合わせてタイムスケジュールを用意するため、事前打ち合わせもボランティアや先生方の都合に合わせて夜に行っています。参加児童に天体のペーパークラフトを配布しています。

■ 学校からのコメント・・・ 本格的な望遠鏡を何台も用意し、月や金星を見ることができます。普段じっくりと夜空を眺める機会のない児童にとって自分の目を通しての観察は感動もひとしおです。親子で月面のクレーターに歓声を上げ、東田小の素敵な秋の一夜となっています。

その他 「ももしサーモン計画」

桃井第四小学校 ▶ 全年学

● ゲスト講師・協力団体等：
卒業生、またはその保護者



■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

10年前から保護者のボランティア活動がスタートしていましたが、卒業生にも声をかけ、今では重要なサポートを任せられるようになっています。学校運営協議会が掲げる「ももしサーモン計画」（卒業生が桃四に戻ってきて活躍してくれる学校を目指す）の推進のため、実働として卒業生ボランティアの登録・応募・配信・当日の支援などを行っています。参加している活動はモモリンカップ（運動会）・まいまいハウス（宿泊を伴うアートイベント）・ウィンタープラン（書道・茶道）などです。

■ 学校からのコメント・・・ 地域や保護者などたくさんの大人が本校の教育活動を支え、楽しい学校生活を具現化しています。それを次世代の児童にもつなげたい。そのためには、学校支援に関わる跡継ぎを育てる必要があります。この取組は、「ももしサーモン計画」の実践です。

その他 朝のあいさつ運動 「夏休みラジオ体操」

堀之内小学校 ▶ 全年学

● ゲスト講師・協力団体等：スポーツ推進委員経験者

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

学校側から、「おはよう」を元気に言えない児童がいる、とのお話があり、これまで長年行われていなかった夏休みのラジオ体操を復活させ、毎朝地域の方に元気にあいさつする機会にしました。毎年スポーツ推進委員経験者に来ていただいています。学校からは音響設備等を借りるだけで、受付は町会にお願いし、郵便局に出席カード、参加賞を寄付してもらっています。参加する方々には、大人も児童も受付であいさつするよう声掛けをしています。

■ 学校からのコメント・・・ 夏休みの恒例行事としてラジオ体操が復活して6年。年々参加者が増え、皆勤賞をもらえる児童もいます。家族や地域の方と一緒に参加することにも、大きな意義がある取組です。



その他 夏休み算数パワーアップ教室

沓掛小学校 ▶ 全年学

● ゲスト講師・協力団体等：地域有志（学校関係者、民生委員、高校生、大学生など）

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

夏休み初めの5日間を利用して、算数の学び直し解消のため、復習テストの結果、学び残しがあつた児童に声をかけ、丁寧に指導したいとの依頼でした。丸付けや助言を中心にサポーターを手配することにしました。日程・学年が決まり次第、地域有志に連絡を取り、各教室に2～3名配置。5日間26コマの短期凝縮型プログラムなので、先生の目指す結果と内容を充分把握するようにしました。高校生を優先に、算数が苦手な児童に寄り添えるサポーターを集めるように努力をしました。

■ 学校からのコメント・・・ 一人ひとりが自分の課題に合った教材に取り組んだパワーアップ教室では、より一層のきめ細かい指導や助言が必要でした。「よくわかった」「来てよかった」という児童の言葉に充実感が表れていました。



その他 東日本大震災を考える・応援する

■ 先生からの依頼と学校支援本部の活動・・・

震災後、すぐに6年生から「自分たちにできることを何かしたい」という提案があり、自主的に募金活動をはじめました。その動きを支援本部でも応援していこう、とイベントや授業、寄付活動を企画。復興まではまだ時間がかかる、児童に震災のことを忘れないでいてほしいという思いから、「いわてを走る移動図書館」への寄付（古本回収活動）は毎年続けています。●平成23年／応援チャリティーイベント（募金・メッセージがき・タグラグビーの実施）。『道徳ドキュメント』で取り上げられた写真家による「3.11肖像写真プロジェクト」の授業。●平成23年～現在まで「いわてを走る移動図書館」への寄付として、古本回収活動。

■ 学校からのコメント・・・

「いわてを走る移動図書館」の活動では、高井戸小学校の児童が大好きな「本」を通じて被災地の児童ともやさしい気持ちをわけあうことができます。ともに成長していけるような「長い支援」を続けていきたいと思っています。



高井戸小学校

▶ 全年学

● ゲスト講師・協力団体等：
「3.11肖像写真プロジェクト」
写真家・小林伸幸氏／
タグラグビーコーチ／
保護者 など